

株式会社 SCREEN グラフィックアンドプレジジョンソリューションズ

## ヒラギノフォントが国際都市・神戸の多言語案内サインに採用

株式会社SCREENグラフィックアンドプレジジョンソリューションズが開発・販売する日本語フォント「ヒラギノUD角ゴ」と中国語フォント「ヒラギノ角ゴ 簡体中文」がこのほど、神戸市の案内サインに使用される日本語書体、中国語書体として採用されました。



### 神戸市に設置された案内サイン

☆この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。

[www.screen.co.jp/press/download/GPN170123.zip](http://www.screen.co.jp/press/download/GPN170123.zip)

近年、外国人旅行者の増加や急速に進む高齢化社会に向け、観光施設への経路や鉄道駅などを示す案内標識(案内サイン)に分かりやすい表示への配慮が求められています。国際都市・神戸市では、これまで文字の書体や大きさなどが統一されておらず、デザインや機能が異なる案内サインが近接して設置されているなど、一貫性に欠けていた案内サインを見直し、新たな「案内サイン共通仕様書」を規定。このたび、案内サインの日本語書体として「ヒラギノUD角ゴ W5」、中国語書体として「ヒラギノ角ゴ 簡体中文 W6」が採用されました。今後、メリケンパークや神戸ハーバーランド、北野エリアといった都市地区を中心に、新たな案内地図サイン、誘導サイン、地下街サインなどとして設置される計画です。

当社の「ヒラギノUD角ゴ」は、ヒラギノ角ゴシック体の基本デザインを踏襲しながら、長く読んでも疲れにくい柔らかな仮名の骨格を採用。文字のあるべき美しさと誤読防止処理の両立を追求しています。また「ヒラギノ角ゴ 簡体中文」は、ヒラギノ角ゴの読みやすさに加え、既存の中国語書体には見られない現代的なデザインが特長。今回の採用は、サイン用途として文字が分かりやすく、読み間違いにくいユニバーサルデザイン書体であること、オーソドックスでありながら現代的な印象が、神戸という街のイメージに適していたこと、多言語表記の場合でも違和感がなく統一感のある雰囲気醸成できることなどが高く評価された結果です。

ヒラギノフォントは、サイン用途はもちろん、高速道路標識、書籍やカタログ、テレビや携帯電話の画面表示、コーポレートフォントなど、数多くの実績があります。当社は、「美しく、読みやすく、つぶれにくい」を追求し続けてきた高品質な書体作りの実績を生かし、今後も拡大し続けるフォントへのニーズに対応していきます。

## ■ 神戸市 クリエイティブディレクター 山阪佳彦氏のコメント

さまざまな人たちが利用する「まちの案内サイン」はどうあるべきか。神戸市では市民ワークショップなどを通じ、この課題を検討してきました。基本フォントを「ヒラギノUD角ゴ」にした背景にも、そんな市民の声があります。フォント選択のポイントは3つ。まずは、可読性に優れているということ。画数の多い漢字でもつぶれにくい「ヒラギノUD角ゴ」のプロポーショナルは、パッと見たときに読みやすく誤認の防止にも有効です。2つ目は、漢字と仮名文字のバランスが良いこと。「三宮センター街」「みなとのもり公園」など、漢字と仮名文字を混用したときに心地いいメリハリがあり、見やすさ・読みやすさにつながります。3つ目は、デザイン的に美しいこと。シンプルでしなやかなフォルムは、見る人にリズムカルな印象を与えます。結果として、多様な人たちが使えるユニバーサルデザインであると同時に、ユネスコ認定「デザイン都市・神戸」にふさわしい案内サインが完成しました。機能面とデザイン面、その両方にフォントが果たした役割は大きいと思います。

## ■ 神戸市 企画調整局 創造都市推進部 デザイン都市推進担当 北川憲佑氏のコメント

まちなかに設置する案内サインで使用する書体は、多様な方に利用いただくため、可読性・判読性が高く、読み間違いにくいユニバーサルデザイン書体であることが求められました。そこで鉄道や他都市の案内サインでも多数採用実績があり、標準的でありながら高品質な「ヒラギノUD角ゴ」で検討を進めていました。同時に中国語フォントも、日本語と共通している部分も多いことから、日本語フォントと統一感を持たせたかったので、同シリーズである「ヒラギノ角ゴ 簡体中文」を考えていました。

実際にこれらのフォントを採用した新デザインと旧デザインのモックアップをそれぞれ作成し、街頭で印象調査を実施したところ、新デザインの方が見やすいという声が多く上がり、目的を達せられたと確信しました。このたび、新デザインの案内サインの整備が始まりましたが、現代的でありつつ機能的な美しさも併せ持ったものに仕上がったと思います。

※ 地図の住所表記に使用されている明朝系書体は、ヒラギノフォントではありません。

\* ヒラギノは、株式会社SCREENホールディングスの登録商標です。

● 本件についてのお問い合わせ先

株式会社SCREENグラフィックアンドプレジジョンソリューションズ GA統轄部 GA第一営業部 Tel: 075-414-7610 screen.co.jp/gp/